

FRP防水のトップコート塗替えには
フロンFRP防水面用プライマー

ウレタン樹脂
溶剤系
1液

2液アクリルウレタン上塗塗材
弾性トップ14

フロン防水材の機能を活かす保護仕上材
ウレタン防水保護仕上トップコート
トップコートの定番!

1 《FRP防水トップコート塗替え仕上げ》

下地素材(FRP)はよく乾燥させ、旧塗膜の浮き、剥離がなく健全である事を確認してください。表面の汚れは十分に洗浄しよく乾燥させて下さい。

下塗り:FRP面塗替えプライマー
上塗り:弾性トップ14

(気温5℃以下湿度85%以上、炎天下や躯体の温度が高い場合や天候の悪い場合の塗装は避けて下さい)

2 塗料が着いては困る所はテープやマスキングで養生して下さい。

3 FRP洗浄剤で手垢や油分をウエス等でキレイに脱脂し拭き取ります。

ウエス

※パラフィンが残っていると密着不良の原因となります。十分な脱脂、又は研磨して除去してから塗装して下さい。

4 【下塗り】FRP防水面用プライマーをよく混ぜてください。

5 うすめずに原液のまま塗装します。スミなど狭い箇所などはあらかじめ目地はけなどで塗装しておきます。

6 ローラーで塗りのばします。

7 【乾燥】2時間(23℃)以上乾燥させます。(24時間以内に上塗りして下さい)

8 【上塗り】弾性トップ14をA液B液共均一によく混ぜてください。

9 A液とB液を1:4の割合で配合しウレタンシンナーで50~60%薄め均一になるようによくかき混ぜます。

ウレタンシンナー

※可使時間は2時間(23℃)です。A液・B液配合後可使時間内に使い切ってください。

10 スミなど狭い箇所などはあらかじめ目地はけなどで塗装しておきます。

11 ローラーで塗りのばします。(A液とB液配合後2時間以内に使い切ってください。)

12 【完成】48時間以上(23℃)乾燥させます。(弾性トップ14が完全に乾く前に養生を取り除いてください。)

- 気温5℃以下湿度85%以上の場合、また降雨、降雪、強風時および天候不良となる恐れがあるときには塗装を避けてください。
- 溶剤蒸気やスプレーストを吸引しないように、有機ガス用の防毒マスクなど適切な保護具を着用し、皮膚に触れないようにし必要に応じて保護めがね、保護手袋長袖作業着を着用して下さい。
- 直接皮膚に触れないよう注意して下さい。もし触れた場合、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。眼に入った場合は多量の水で洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 良くフタをし子供の手の届かない一定の場所を定め、空気中の湿気と反応しますので、空気が入らないように密栓し冷暗所に保管して下さい。容器は中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 製品安全データシートをよく読んでください。
- コンクリート、モルタル表面に形成されるレイタンス(遊離アルカリ)、エフロレッセンス(白華)、砂、ホコリ、ゴミ等は密着不良の原因となる為、ワイヤー付きポリッシャー等で完全に除去して下さい。
- 新設のコンクリート、モルタル面は、打設後約40日間以上の養生期間をとってpH9.5以下になってから施工して下さい。
- 降雨後は、下地が水分を含んでいる為、2日以上十分に乾燥させて下さい。
- 施工時及び施工後の換気を十分に行ってください。
- シーラーと上塗り塗料は絶対に混合しないでください。また、はけ、ローラーなどの共用も避けてください。
- A液B液の配合比(重量比)は、ハカリ等を使って正確に混合してください。硬化不良の原因となります。
- 可使時間は2時間(23℃)です。A液とB液混合後2時間以内に使い切ってください。
- 塗装条件、環境などにより、塗膜の本来の耐久性が十分に発揮されない場合があります。
- プライマーは、湿気硬化型ウレタン樹脂ですから、空気中の湿気と反応します。開缶後は速やかに使い切ってください。
- プライマーを塗布後2~24時間以内(25℃)に上塗りをして下さい。24時間以上経過しますと上塗りが層間剥離を起こす恐れがあります。
- 脱脂が不十分の場合パラフィンワックス、ゴミ、ホコリの混入などで層間剥離となる可能性があります。

Internet Paint Shoppe 塗料専門店直営の通販サイト
pw paint **ぺいんとわーくす** 建物館
http://www.paint-works.net/tatemono/